

いきいきライフ

ラジオ講座テキスト

毎週日曜日 6:30～ 7:00 放送
 毎週土曜日 17:15～17:45 再放送
 FBCラジオ 嶺北 864kHz / FM 94.6MHz
 嶺南 1557kHz / FM 93.6MHz
 パソコン・スマートフォンから radiko や FBC-i で聴くこともできます。



つるし柿

令和五年十一月 もくじ

学び強化月間 シリーズ③
 北陸新幹線 福井・敦賀開業
 ～旅について学ぼう～

- 十一月五日放送（第三十二回）
 北陸新幹線 福井・敦賀開業
 ～福井県でいま観光産業がなぜ大切なのか～
 私たちができること……………2
 福井県観光連盟 観光プロダクトアップスパーバイザー
 於 保 孝 志
- 十一月十二日放送（第三十三回）
 旅を通じて自分磨き……………4
 株式会社読売旅行福井営業所
 所長 館野 孔 史
- 十一月十九日放送（第三十四回）
 外国人観光客にウケる福井の魅力とは…6
 福井県通訳案内士協会
 会長 鷲 田 知 憲
- 十一月二十六日放送（第三十五回）
 地域に愛される鉄道を目指して…9
 株式会社ハピラインふくい
 代表取締役社長 小 川 俊 昭
- 感想文のコーナー……………11
- 文芸欄 ……………15

■十一月五日放送（第三十二回）

北陸新幹線 福井・敦賀開業 ～福井県でいま観光産業がなぜ大切なのか・私たちができること～

福井県観光連盟

観光ブランドアッスパーバイザー

於 保 孝 志

北陸新幹線福井・敦賀開業は「100年に1度の好機（チャンス）」との言葉を耳にする機会も多いと思います。新幹線が様々な経済効果をもたらすことは広く知られています。が、今回は観光に焦点を当ててお話しします。

【観光産業がなぜ大切なのか】

●人口減少に伴う年間消費額の減少

はじめに日本の総人口について見てみましょう。総務省によると、2010年に1億2805万人（※以下、推計値）だった日本の総人口は、2020年には1億2614万人となり、わずか10年で191万人の人口が減少しています。これは福井県の人口が約74万人ですので、その約2・58倍



の人口が日本から減少していることとなります。定住人口1人あたりの年間消費額は約130万円（総務省）と推計されており、約2・5兆円の年間消費が消失している計算になります。

福井県によると、福井県の人

口は2010年10月1日時点で約80万6千人でしたが、2023年8月1日現在では約74万5千人となり、およそ13年で約6万1千人の人口が減少し、793億円の消費が減少している計算となります。その人口減少に伴う年間消費額を補うことを期待されているのが「観光消費」ということとなります。観光庁の試算によると定住人口1人の年間消費額を補うために必要な観光客の数は国内宿泊旅行者で約23人又はインバウンドと呼ばれる海外からの旅行者で約8人といわれております。

●観光産業とは

産業の分類（製造業・建設業など）に観光業という分類はありません。観光産業とはいったい何なのかということですが、様々な業種が観光にかかわっています。ホテルなどの宿泊業、レストランなどの飲食店業、航空や鉄道などの運輸業、土産物店などの小売業などです。観光庁によると2019年の旅行消費額は約29・2兆円と推計され、さらに経済波及効果は約55・8兆円となっています。経済波及効果について宿泊業を例にとってみます。ホテルで食事をするとき食事代として飲食店業に消費がなされます。その食材は小売業者・卸業者を介して仕入れられていることが一般的です。

また、それらを運ぶ物流つまり運輸業、食品を製造する製造業、さらには原材料を供給する農林水産業へと経済効果が及びます。また、宿泊者はベッドで寝る際にシーツなどリネンを使用します。リネン事業者、洗剤を納品する卸売業、洗剤を製造する製造業と数珠つなぎに経済効果が及

んでいきます。

コロナ禍には観光関連産業が優遇されすぎているという批判もありましたが、観光とは関係なさそうな産業においても観光客の減少に伴う消費額減少の影響を受けていたという側面を知っておくことは重要だと思います。また観光産業全体で、456万人の雇用誘発効果があったと推計されています。人口減少の弊害の一つである労働力不足の一方で雇用が生み出されているという非常に悩ましい状況でもあるのです。

【わたしたちがききたい】
●プレイヤーとして

私たちが旅行に行った際に消費をする場所（ホテル、飲食店、土産物店、体験施設など）をキャッシュポイントと呼んでいます。いくら多くの観光客が福井県を訪れたとしても、消費をしてくれなければ経済効果は少ないのです。福井県はこれまで観光客があまり訪れていなかったこともあり、キャッシュポイントが少ないという課題があります。福井県を訪れる観光客をターゲットとした新たなビジネスチャンスを活かした事業をはじめてみることはいかがでしょうか。自分で事業を起こすのは難しいという方が大半だと思います。先ほど、人口減少における労働不足の話を行いました。これらを補うためにはDXを活用した生産性の向上はもちろんありますが、サービスの場面では人を介さなければならぬ業務があります。女性活躍、シニア活躍などの言葉を聞く機会も増えてきましたが、一人一人が1日1時間でも観光客の受け入れに活躍いただくことも期待されています。

れています。

●観光客へおもてなし

福井には観光客を魅了する数多くのコンテンツがあります。福井のみなさまとお会いして話をする機会も多いのですが、初めて会ったときに「福井には何も無い」とか「普通です」と言われることが多々あります。自信をもって観光客や県外の方におすすめてみてください。福井のありのままが観光客にとっては非日常であり魅力的であるのです。「なにかおすすめてありますか?」「福井はたいしたものはありません」というやり取りでは観光客はテンションが下がってしまいます。県民一人一人が福井県の宣伝部長となり自信をもって魅力を伝えていくことが、おもてなしへの第一歩だと考えています。

新幹線開業は通過点、100年に1度のチャンスを逃さず、福井の魅力を観光客のみなさまに伝えていきましょう。

.....
講師略歴……於保 孝志（おほ たかし）
.....

福岡県出身。サンノゼ州立大学（カリフォルニア州）ホスピタリティマネジメント学部卒。米国の旅行会社にてアウトバウンド業務を担当。帰国後、星野リゾートグループにて旅館・ホテル運営に関する業務を経験した後、温泉旅館の総支配人として地域資源を活かした施設運営に携わる。同グループの不動産金融部門ではIR業務・アセットマネジメント業務を担当し、宿泊施設の運営者サイドのみならず所有者サイドの知見も習得。2021年11月より現職に着任し、観光地域づくりを推進している。地域限定旅行業務取扱管理者、宅地建物取引士、不動産証券化協会認定マスター、調理師、2級レストランサービス技能士等の資格を保有。

■十一月十二日放送（第三十三回） 旅を通じて自分磨き

株式会社読売旅行福井営業所
所長 館野 孔 史

旅とは、自宅を離れて、よその土地へ行くこと。と定義されている（オックスフォードランゲージより）。
家を出て、いろいろな場所にでかけ、いろいろな体験をする。

私は、子どものころから両親に連れられていろいろな街への旅をした。北海道や沖縄をはじめ、岩手県の浄土ヶ浜釜石、山形県の蔵王、岐阜県の飛騨高山、もちろん北陸の地にも訪れた。アルペンルートの通り抜けをして、宇奈月温泉に宿泊し、黒部下ロッコ列車にも乗車した。中学生までは家族旅行を楽しんだ。普通乗用車に父親がドライバー、母親が助手席で道案内、私たち兄弟は後ろの座席と決まっていた。必ず夜行ででかける。



おにぎりや飲料をたくさん積んで、途中で食料を食べながら夜通し走って移動をしていた。なかなか寝ることができず、観光の時はいららだったが、旅

先で見える風景は新鮮に感じた。

子どものころから旅することに抵抗はなく、行く先々の景色や食事などを楽しむことができたのは、ひとえに両親のおかげだといっても過言ではない。旅先で見える風景は子どもの視線からでも、いつも新鮮であった。

大学生のころは、交換留学生として、カナダのバンクーバーに滞在していたこともあり、カナダやアメリカなどを旅することができた。冬休みは唯一まとめて休みが取れる時期だったので、そのときは、友人と2人で旅に出かけた。行程は、ジャマイカからアメリカ・マイアミに入り、オランダ、そしてニューヨーク、コカ・コーラ本社のあるアトランタをレンタカーでまわり、列車で北部まで移動し、ワシントンDC、フィラデルフィア、ニューヨーク、ボストン、そして最後はナイアガラフォールズまで移動するなかなかハードな旅だった。基本的に日中は観光し、夜になったらレンタカーや夜行列車で移動するものでなかなかしんどかったが、ジャマイカでは街のいたるところでレゲエ音楽が流れ、オランダはデイズニールワールドやユニバーサルスタジオで夢の世界へ、ニューヨークはジャズの聖地、アトランタは南部の街、ワシントンDC、フィラデルフィアは歴史を、ニューヨークは先進さを、ボストンでは学生の熱気を感じ取るなど、風景だけでなく、その土地の文化についても学ぶことができた。

社会人になってからは、仕事柄、県外に出る機会は増え

だが、休みは学生のころと比べて少なくなった。それでも長期休暇を取得できるタイミングでいろいろと出かけるようにしていた。最近では、羊蹄山の見える「セー」や函館、白馬地区、海外ではハワイ島などに数日滞在して、各地へ出かけ、風景を楽しむとともにその土地に根付いた文化を知る。時間があれば、なるべく旅をしたいと今でも考えている。

旅先で出会う景色は、千差万別その土地さまざまである。各地の気候・地形など自然そのものをあらわす風景であったり、その土地に根付いた人間の生活や社会の営みなどに起因する風土であったり。そしてそれらにはいつも発見と驚きがあり、日本にいながらいわば異文化を体験し、それらを受け入れる事で自分の考え方に幅がでてくるようになり、以降の人生においてもプラスとなっている。

近年では、SNSやインターネットの普及で人々は家にいながらオンラインタイムですでにその場所に行ったかのように情報を得ることができるようになった。しかし、あくまでそれらは疑似体験にすぎず、実際の体験の代わりにはならないと考える。実際に、外に出て、土地や風景をみて、その空気を吸い、食べ物を食し、人々と会話をするなどの実体験をすることで、いくつになっても、自分の人生に経験を重ねることが出来る。

くしくも2024年3月16日に北陸新幹線が敦賀延伸となる。中部縦貫自動車道の延伸なども含め、交通網が整備されていき、県内・県外の往来はよりしやすくなる。技術は日進月歩で進化していき、他地区との往来が容易になっているが、まだ行ったことのない場所が日本には多数存在し、それぞれの土地独自の風景や風土を持っている。だから、外に出て、飛行機や電車などに乗り、様々な場所へ行き、名所・旧跡などを観て、人々に会い、多様な食べ物を食べて、人生経験を積みめればと思う。それらは、必ず人々の人生を豊かにすると信じている。人生はまだまだこれから。聴取者皆様の人生が旅をすることで、ますます豊かになることを祈念したい。

講師略歴…… 館野 孔史 (たての よしこみ)

1973年栃木県佐野市生まれ。立命館大学経営学部卒業後、株式会社読売旅行に入社、福井営業所に配属となる。以降、金沢・高岡・甲府・福井・高岡と5回の転勤ののち、2023年2月より、3度目の福井営業所に転勤。現在、他地区より福井県へ誘客する振興事業を中心に日々精進中。

■十一月十九日放送 (第二十四回)

外国人観光客にウケる福井の魅力とは

福井県通訳案内士協会
会長 鷲田知憲

私は2016年に福井県通訳案内士協会という団体の設立にかかりました。現在は会長をしています。この協会は福井県登録の全国通訳案内士資格保有者が集って結成されました。言語は英語と中国語の会員が在籍しています。「全国通訳案内士」は簡単に言えば、一定の水準で語学力を含めた通訳の観光ガイドの能力がある、という証明になるれっきとした国家資格です。私は英語でこの資格を取得しています。

きた、福井県のインバウンドについての現状とそのポテンシャル、そしてこれからの心の持ちようなどを今回お伝えします。

まずは現状の福井の観光地としてのポテンシャルです。外国人が福井に来てもらうために魅力のあるところがそもそもあるのか、という疑問があります。その手がかりとして、政府のアドバイザーもされていたデービッド・アトキンソン氏の「新・観光立国論」という本には、日本が観光立国化されるための4つの条件が示されていますが、それをひとつひとつ検討していきます。その条件は、「気候」「自然」「文化」「食事」の4つです。そうしますと、この4条件を福井はすでに十分に満たしていると考えていいと思われま

最近では外国人観光客の訪日旅行増加が注目されています。コロナ禍以後、日本への旅行需要は旺盛で、すでに今は8割方回復しているようです。それでは福井のインバウンドはというと、外国人延べ宿泊者数は、2019年には全国46位とまだまだ少ない状態でした。それでは私が協会結成以来7年間見て

そして付加的に「おもてなし」などの要因が重要になるということをおアトキンソン氏は説いています。ではなぜ、まだ人があまり来ていないのか？ 結論から申しあげれば、おそらく福井はまだ十分に外国人観光客に魅力を知られていないということが挙げられます。



初めて訪日観光をされるお客様は、主にゴールデンルートと呼ばれる太平洋側を旅されます。最初から福井に来ることは少ないです。日本を2回目以上旅行されるときに、

満足してもらえない旅行先に福井が選ばなければいいわけです。その波は確実に来ますし、おそらくすでに少し来ていると思われる。今後この波が地方へ波及し、観光客が自然と増加することは十分に考えられます。

それではインバウンドを増やすための福井の大まかな問題点を挙げてみます。

- ①県内を回るうえで交通の問題
- ②受け入れ態勢（決済手段、言語など）
- ③宿泊先と観光地の距離

また、これに付随して富裕層の取り込みも大切です。旅行者の人数という量の面より、質の見込める旅行を福井で企画していくことが、迫りくる少子化で労働力不足を迎える福井県にとっても一つの最適解です。

ガイド業務としては、時間的に余裕のできたリタイヤした語学の得意な年配の方が資格を取り、仕事をするということをよく聞きます。第二の人生としての生きがいにもなりますし、さらには地域貢献にも繋がります。福井ではまだ全国通訳案内士を含め、バイリンガルのガイドは少ないので、今後仕事が増えていくことが期待できます。



これから日本は人口減少が確実です。地域の経済を維持するためにも、福井県民それぞれの外国人観光客の受け入れ姿勢がこれからの経済の成果を決めるひとつの変数になるのではないかと思います。観光は裾野の広い産業と言われます。まずは旅行者との対話というか、お互いの国を知ろう、と相手に好奇心や興味を持って臨むべきではないかと私は思います。「福井は楽しかったですか？」とストリートに尋ねてみてもいいでしょう。来年には北陸新幹線の福井・敦賀延伸でも福井の注目度は上がると思います。これを機に一発大きな花火が打ち上がりそうですので、福井にきた人へ満足を深めてもらうためにも県民一人ひとりの振る舞いが大事です。

我々通訳ガイド自体の役割は、現地ガイドを雇えるような予算に余裕のある人を中心にさらに移っていくと思います。福井の観光のために、プロフェッショナルな意識をさらに持って臨んでいきたいと思っています。



講師略歴…… 鷲田 知憲（わした ともりの）

1975年、福井県勝山市生まれ。学習院大学を経て、アメリカのコロラド州にあるコロラド大学ボルダー校ビジネス科を卒業。デンバーで1年間の就業後、2003年に帰国。現在は、勝山市にて、家業である農業機械や林業機械、除雪機などの販売などを行う会社の役員を務める。2016年に全国通訳案内士（英語）の資格を取得。その後、福井県通訳案内士協会の設立メンバーとなる。

■十月二十六日放送（第二十五回）

地域に愛される鉄道を目指して

株式会社ハピラインふくい
代表取締役社長 小川 俊 昭

《ハピラインふくいについて》

皆さんはハピラインふくいを「存じ」でしょうか。令和6年3月16日の北陸新幹線福井・敦賀開業と同時に、JR西日本から経営分離される現在の北陸本線を運行していく鉄道会社です。営業区間は、敦賀―大聖寺駅間の84.3kmで、大聖寺駅を除いた18駅を管理します。

利用者は、1日約2万人を維持することを目標に掲げています。地方鉄道では、人口減少に伴い年々減っていくと予想される利用者数をどのようにして増加・維持させるかが課題となっています。このような状況の中、当社では、より多くの方々に利用いただけるよう、利用促進策に取り組んでいきます。



《利便性の向上》

鉄道会社が一番大事な商品は「ダイヤ」です。新幹線が開業すると、現在北陸本線を走行している特急列車が廃止されます。普通列車の運行を担うハピ

ラインふくいでは、特急列車の廃止による空き時間を利用し、利用者が多い通勤・通学時間帯などを中心に、運行本数を現在の1日102本から126本程度に増便する予定です。そのうち、朝夕の時間帯には福井―敦賀間で快速列車を8本程度運行する計画です。快速列車の途中停車駅は鯖江、武生、南条あるいは今庄駅の3駅を想定しており、所要時間は現行の約50分（福井―敦賀間）から10分程度の短縮を図ります。

また、日中時間帯に毎時一定時間に駅を発着するパターンダイヤ化も検討中です。さらに、福井発最終列車の出発時刻については、20〜30分程度の繰り下げを検討し、利用しやすいダイヤの提供を目指していきます。

新幹線延伸後、ハピラインふくいの営業区間は、敦賀駅から大聖寺駅までとなっております。大聖寺駅から金沢駅までは新たに石川県の1Rいしかわ鉄道が運行を行います。福井駅から金沢駅へ行く場合、ハピラインふくいと1Rいしかわ鉄道の2社をまたぐこととなりますが、利用者の利便性を考慮し、相互乗り入れを行い乗り換えが不要となるよう調整を進めています。

現在、ハピラインふくいでは、越前市の王子保―武生駅間、鯖江市の武生―鯖江駅間、福井市の福井―森田駅間の3か所で新駅の設置を検討しています。新しい駅を整備することは、新たな鉄道利用者を取り込むことが期待でき、利用者増加のための特に有効な施策です。王子保―武生駅間の新駅は、令和7年春の武生商工高校のワンキャンパス化に合わせて供用を目指します。

パーク&ライド駐車場の整備も利用者増加に有効な施策

です。鉄道を利用するときには自宅から最寄りの駅まで車を利用したい人が多いのではないのでしょうか。車と鉄道を併用することで、交通渋滞の緩和や環境に優しいといった効果があります。皆さまがより鉄道を利用しやすくなるように、パーク＆ライド駐車場の整備や拡充を実施し、駅へのアクセス向上につなげます。

《利用しやすい駅舎等の環境づくり》

18 駅中13駅が無人駅であり、駅によっては暗く寂しい印象を抱くことはありませんか。駅を安心して利用できるよう、地域と連携し、使いやすく、楽しく、特徴ある駅にモデルチェンジしたり、駅舎内の空きスペースを利活用し、地域の「コミュニティスペースや飲食店を整備したりするなど、「地元から親しまれる駅」行ってみたくなる駅」へ変えていきます。

《利用促進に向けた企画》

列車を、目的地に移動する手段としてだけでなく、乗車すること自体も楽しんでいただくために、イベント列車・観光列車の運行を検討しています。車窓に広がる景色を見ながら、地元の旬な食材を堪能することができるイベント列車・観光列車の導入とともに、JR小浜線や越美北線への乗り入れ運行も検討し、県内外の観光客を取り込みたいと考えています。

他にも、えちぜん鉄道や福井鉄道、バス会社などの交通事業者と連携した企画商品を検討中です。各営業範囲を越えて広域的な観光ができるフリー切符など、お得な切符を

企画しています。

10月にハピラインファンクラブを設立し、会員を募集中です。年度更新で、会費は一般会員が1000円、家族会員（一般会員と同一の住所の方）が500円です。会員特典として、通常1500円相当の1日フリー乗車券の進呈や会員限定イベントへの招待、オリジナルグッズの割引、協賛店でのお得な特典などを受けられます。令和6年1月31日までに入会した方に、早期入会特典としてオリジナルパスケースをプレゼントします（無くなり次第終了）。ぜひファンクラブに加入して、お得にご利用ください。

ハピラインの開業までいよいよ3か月余りとなりました。当社は県民生活に重要な幹線鉄道として、開業を、地域に密着し県民に愛着をもって利用していただける鉄道へ一新する大きなチャンスと捉えています。来年3月16日の開業に向けて、社員一丸となって全力で取り組んでまいります。皆さまのご利用、お待ちしております。

講師略歴……小川 俊昭（おがわ としあき）

福井県福井市生まれ。日本国有鉄道から、1987年に福井県庁に入庁。土木部技幹（都市計画）、福井土木事務所長、土木部長などを歴任。2021年4月に株式会社ハピラインふくい（旧…福井県並行在来線準備株式会社）の代表取締役社長に就任。

感想文のコーナー

このコーナーは、受講生の皆様から寄せられた感想文を紹介いたします。紙面の都合上、すべての感想文を紹介できないことをご容赦ください。

■九月三日放送（第二十三回）

シニア世代とボランティア活動

武藤 功士 先生の感想文より

▼齋藤 優（二十一番）

九月がボランティア月間に制定されていることを初めて知りました。ボランティア活動は良いことづくめのようです。

これまで私の関わってきたボランティア活動は主にスポーツ分野です。スポーツ指導をはじめスポーツイベントの運営支援活動が多く現在も続けています。加齢に体力の減退も加わり行動力の衰えも感じていますが、できるだけ前向きな気持ちを持って、今後は体力を消耗する分野より軽度で健康保健や事務的な活動がよいかと思っています。

最近では気候変動が激しく、自然災害は想定外の規模で発生しています。災害復旧支援に早速参加してくださるボランティアには本当に頭が下がります。十九年前の福井豪雨被害を経験した者として、今更ですが夏の暑い日差しの中献身的に協力いただいた多くの方々に改めて感謝の頭を垂れます。

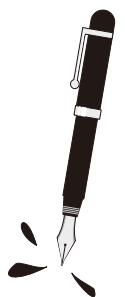
ボランティアへの参加希望を持つにしても大切なことは先ず自分の健康管理であると思います。常に体調をコントロールしていないと、せっかくのボランティア活動で自己

の不注意で健康を損ねたり、事故に遭ったりしてしまいます。それではかえって迷惑をかけてしまいます。やってみようという意欲や興味はあっても軽い気持ちでの参加は慎みたいものです。ボランティア活動の総論を詳しく解説していただき有り難うございました。

▼齋藤 智恵子（二十五番）

「ボランティア活動とは、無償性を原則として、世の為人の為になることを自らの意志で行動を起こすことである」と先生はおっしゃいました。調査によれば何らかのボランティア活動をしている人は将来介護を必要とする可能性が低い傾向にあり、総務省の「社会生活基本調査」では本県はシニアのボランティア活動が盛んであるという統計結果が出ているとの事です。

私は六十代後半から八十代後半までシニア向けのお茶の会をおけいこを通してボランティア活動をしてきました。たくさんの方々と交流を重ね、それは私にとっても楽しい時間でした。そして今でもその人達との交流は続いています。皆さんと楽しくゆとりのある雰囲気の中でおけいこやお話しが出来ましたので、私の健康維持にとってもよかったです。



▼村寄 百合子(二十八番)

昭和55年に福井県ボランティアセンターができ、平成5年に全国ボランティアフェスティバルが福井県であり、今月は33回目のボランティア月間であることを初めて知りました。

ボランティア活動の原則は、①自発性②社会性・公益性③無償性④創造性との事。

そして、ボランティア活動は新しい自分を見つけ出すことができ、また、ボランティアの参加時間が長い人ほどストレスを軽減でき、健康感幸福感が得られやすいとの事。

ボランティアは一步踏み出すことが中々できませんが、ボランティアを受けた人はとても喜びし両方が幸せになることがよく分かりました。

福井県はシニアのボランティア活動が盛んだそうですが、益々盛んになるよう願っています。ありがとうございました。

■九月十日放送(第二十四回)

いくつになってもチャレンジ
〜できるところからやってみよう〜

山中 義和 先生の感想文より

▼藤沢 静子(百六十四番)

「高浜町おやジィーの会」のテーマソングの歌詞にあるように、「オヤジって何だろう」と私も思ったことがあります。でも定年後のオヤジのことではありません。父親と息子の関係です。お互いに余り会話が深くないことです。

それでも通じ合ってはいるようですが…。

山中様は、定年後の男性のあり方について疑問をもたれリタイヤシニアの活動団体を立ち上げられて、今も中心となって働かれておられる様子をお聞きして、素晴らしいと思いました。私の町でも、地域の福祉活動、講演会、趣味の会等々の集まりはほとんど女性が多勢を占めます。そんな場面に出会うとシニアの男性方はどこで何をして過ごしているのだろうか、不思議に思うことは少なくありません。月に一度のジィーさんだけのサロンが「ジィー専科」。とても素敵な名称を付けられたと思います。

これからも地域活動と共に、自身も仲間との交流で有意義な日々が送れるようになっていくのでしょうか。これからの「高浜町おやジィーの会」の益々の発展を祈念します。

▼山田 寿美(七十二番)

退職後の生きがいづくりと地域への恩返しをモットーにボランティアの会を作られ、テーマソングまで作られたのは、すごいです。今までの地域の集まりは女性ばかりで男性がいなかったため男性に呼びかけて結成されたとか。そして10年を迎え、地道に、また、自分たちの元気のためにも続けていきたいとお話。

実は私にもよく似た経験がある。平成7年頃、勤労婦人センターで介護講座を受講した後、介護のボランティアをしたいと、自然に11名が集まり「たんぼぼサークル」が誕生。グループに分かれて月一回特別養護老人ホームへお手伝い

に行った。その内容はティータム、入浴、話し合いなどで当時のお年寄りの昔話や日常の家事のことなど、いろいろ教えてもらって楽しかった。10年続いた。サークルの仲間との絆もでき有意義な時間だった。

現在では介護を受ける年齢になったが当時を思い出し貴重な経験をさせてもらった事に感謝している。

▼松澤 崑三郎 (三十八番)

10年前、勤めや仕事に一段落した皆さんに「生きがいくくりを一緒にやりませんか」と呼びかけ、スタートしたが「高浜町おやシィーの会」。呼びかけたところ10名近くが賛同してくれ、現在は16名。職種も会社員、自衛隊、公務員、建設、運転手などいろいろ。月に一度顔合わせを兼ねた定例会、シィーさんだけのサロン、お出かけ見学会、地域の方との交流会などを柱に活動している。

また、高浜町社協が行う給食弁当の週1〜2回の配達や赤い羽根共、同募金街頭活動にも参加している。定例会は120回を迎え、研修テーマは健康、介護、相続、親子・家族関係、町の課題など幅広く勉強している。最近では会員が講師になりスマホ教室も行っている。

今年、設立10年を迎え、お世話になった講師やサポーター、健康アドバイザーなどの関係者をお招きし、7月には「感謝の集い」を行った。

また、井階医師に「まだまだ現役、地域活動が長生きの秘訣」と題して講演をお願いした。最後にみんなで「この

街で」を合唱し、幕を閉じた。テーマソングは私も経験したことがある歌詞で、懐かしく思われた。

本当に、無理のない、身近な課題に取り込み、地域のため、生きがいのため、居場づくりのための活動であり、自分もしたいと思う素晴らしい活動である。

■九月十七日放送 (第二十五回)

音訳ボランティア

感情は込めてはいけないけれど、心を込めて取り組みたい

東野 香里 先生の感想文より

▼前川 嘉津子 (二百十八番)

30年ほど前になると思いますが、中途視力障がいの高齢者と関わるころがあった時、当時点字図書と言われていた音訳テープをレンタルしました。今回のお話を拝聴し懐かしく思いました。耳当たりの良い声がカセットテープに吹き込まれていて、高齢者でも簡単に聴くことができました。返却も近くのポストに投函すればよかったです。便利でした。何気なくその時は聴いていましたが、大変な作業をされていたのですね。今も楽しみにしている方々がいると思います。今後も頑張ってください。

▼森忠 陽子 (二百三十一番)

今日音訳ボランティアのお話をお聞きして、音訳が出来上がるまでには、調査、下読み、録音、聞き直し、修正等大変な努力と勉強をされていることを知りました。有り難

うごきます。感謝です！

将来必要になったら心を込めて聞きたいと思います。

▼杉下 信夫（八十八番）

音訳テープがあるのは知っていましたが、ボランティアさんのお話を聴くのは初めてです。さすがに聴きやすい語り口でした。

音訳作業は、はかかなりハードルが高そうで、とても手が出ませんが、地声でいいというのは新鮮でした。実際の音訳テープを聞いてみたいものです。

興味のあるところは人それぞれ違っていて、面白いもんだなあと改めて思いました。

■九月二十四日放送（第二十六回）

防災と被災地支援のためのボランティア

立平 政勝 先生の感想文より

▼竹内 多美子（四十番）

平成16年福井豪雨による被災地支援ボランティアの機会が一度ありました。勤め先からの派遣で水害あとの泥だしや洗いが主でした。泥水に浸かった家具や調度品は全て廃棄され、そのおびただしいゴミの山や独特の臭いに圧倒されました。

平地での豪雨に比べて山地をかかえた地区では何倍もの災害に見舞われ想定外の結果がもたらされたことは、後に

も先にも体験したことがなく、見様見真似で一日を終えたことが印象に残っています。

今日のお話してから災害ボランティアを実践してきた場合と未実践の場合では「備え」や「対応」に差が出てくるもので一回でも多く参加し体験することの意義が分かりました。服装をはじめ所持するものや活動のやり方など、体験を積む毎に自覚でき、より良いボランティア活動へとつながっていくのだと思いました。

災害の時には自分のできるボランティアに参加しお互い共助の精神で乗り切りたいと思いました。

▼木谷 直子（百八十四番）

「自分がボランティアを受ける可能性を考慮しておく」「出来れば鉄製の剣先スコップ、ゴム長靴を用意しておく」「それから」とにかくボランティアに参加してみる」と先生はおっしゃる。全くその通りだと思う。突然、見知らぬボランティアが来ても中々受け入れてもらえないだろうが、平時からの繋がりがあれば理解していただきやすい。

「活動を重ねていけば、そのうち備えや対応等の優先順位が分かってきて、無駄なことをせずに済むのではないだろうか」とも先生はおっしゃっている。「天災は忘れられない頃来るとい言葉があるが、いつ来てもいいように平時から準備や対策が大事、空振りには許されても見逃しなないように」と締めくくられた。私に今出来ることは、自分や地域を守るよう長靴を一足余分に持つことだ。ありがたいと思いました。

文 芸 欄

俳 句



耳たぶに犬の口づけ秋月夜
み仏はすべて福耳さるすべり

前川 康子 (二百四番)

好き嫌い曖昧にして神の留守
柚子風呂の我が胸にある吃水線

高石まゆみ (百六十五番)

冬の虹走ってあなたに知らせたい
湯豆腐や今幸せと気づかず

中山 慶子 (二百六番)

選ばれし高原の空星光る
ボランティアしてもされてもありがたい

前川嘉津子 (二百十八番)

川 柳

ボケ防止俳句は良いと句の師匠
計り飯一箸多く盛る御飯

谷川 好枝 (四番)

発行所 (福) 福井県社会福祉協議会

〒910-0856 福井市光陽1-3-11

FAX 電話 076-244-0433

令和5年度

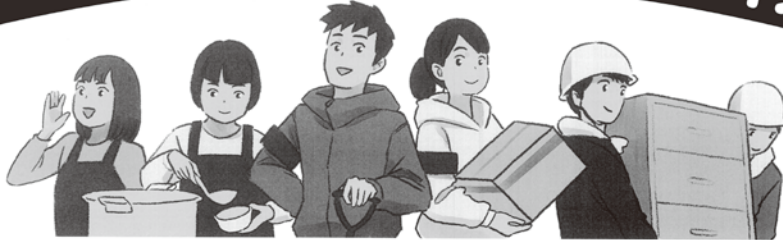
https://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金			1,040万円		
	後遺障害保険金			1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額			6,500円		
	手術保険金	入院中の手術			65,000円	
		外来の手術			32,500円	
	通院保険金日額			4,000円		
特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外 ^(*)		初日から補償		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		×	○	○	
年間保険料			350円	500円	550円	

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険) ホームページ

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3349) 5137

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJ2-1223より抜粋して作成)